

サンビーチ廃止、新施設を模索

12 月 7 日市長は「県開発公社が砂沼サンビーチの施設を取り壊し、跡地を更地にした上で、年間を通じて利用可能な施設の整備を模索する」と今後の方針を示しました。

この間私は、サンビーチの存続を願って活動してきましたが、その趣旨は、もっとも財政負担を抑えて地域の観光資源を温存する方法がサンビーチの存続であると考えていたからです。

その趣旨（新施設整備は市の負担無く県の費用で）から、今後整備を目指す新施設について質問しました。



新施設について以下の質問をしました。

①下妻市の費用負担ないように

市の負担が発生しない形（県負担）での検討を考えているが、サンビーチ跡地のほか、市開発公社所有地、ビアスパークを含めた砂沼西岸の一体的な整備を視野に入れた場合、市においても相応の負担の検討が必要という市の見解について、砂沼広域公園上（サンビーチ跡地）については市の持ち出しは無いのか更に質問し、そこは県の方で考えていくのであらうと思っている、砂沼西部開発の大きな計画を作っていく場合は設計費用などが出てくる懸念があるとの答弁がありました。多大な市の財政負担が生じないように、今後注視してまいります。

②民間活力の活用を

新施設整備の経費削減の上でも、新施設の収益向上を考える上でも、民間活力の活用がキーポイントになると考え以前から提案し続け、その取組が形になりつつあると感じています。

施設の再利用を念頭に早い段階（施設の取壊し前）からの民間参入を提案しましたが、再利用には多大な経費が掛かるとの答弁でした、その判断も含め民間の知恵を借りてはと提案しました。

③県補助金の活用を提案

県の「宿泊施設立地促進補助金」の利用を提案し、対象民間事業者への案内をしていく旨答弁がありました、この補助金を利用できればスケールの大きい事業展開の可能性がありそうです。

④その他

- ・新施設において来場者を市内へ誘導する仕組み作りを提案しました。
- ・新施設整備まで空白期間が出来ないように、それまでのサンビーチ営業延長は無いのか確認しましたが、修繕費用の増大が予想され対応できないとの答弁でした。
- ・新施設整備が市の多大な投資を伴うものであればサンビーチ廃止の趣旨に立ち返り、新施設は作るべきではないと提案、同意の旨の答弁がありました。

再稼働の懸念高まる東海第二原発

県内、東海村の東海第二原発は、本年 11 月 27 日で法律の定める 40 年の運転期間を終えました。廃炉となるのが原則でしたが、特例処置の 20 年の運転期間延長認可が出され、再稼働が現実味を帯びてきている状況です。今後は、茨城県、東海村、周辺 6 市村（東海村含む）の再稼働の可否判断が問題となってきます。その際「実効性ある避難計画」が策定されているかどうか争点となります、下妻市は 6 市村の一つ水戸市の避難先自治体となっているので、①避難者の受け入れ態勢が整っているのか確認するとともに、②当市市民の避難についてもどのように考えているのか質問しました。



事故発生時の対応について質問しました。

①水戸市・避難者の受け入れ

水戸市の避難計画は避難先自治体がまだ一部決まっていない。したがって各自治体への避難者数も決まっていない（下妻市の避難者数も未定）

避難先がすべて決まった後、各自治体の避難者数が決まる（下妻市への避難者数も決まる）

その先の具体的な話（避難所がどこかとか、備蓄品がどれくらいとか、除染や放射線量検査の方法とか）を決めていくのはまだ先ということの様です。

水戸の「実効性ある避難計画」は、まだ出来ていないということを避難先自治体として確認しました。

②当市市民の避難指針を

当市市民の避難計画やマニュアルの作成も今後検討が必要との答弁を得ました。

また下妻市は原発から 30 キロ圏（UPZ 圏）外のため、早期避難が必ずしも必要とは考えていないとの答弁に対して、それは原発事故の規模（放射性物質の飛散量）次第なので、避難が必要な状況も視野に入れてマニュアル等の作成をするべきと提案、どういうことが想定されるのか、最低限の指針、は今後研究していくとの答弁を得ました。

更に避難者受け入れを担当する市職員自身の避難が制限されるのではとの質問に対し、下妻市が被災した場合には、水戸市の避難者受け入れは行わない内容で協定を結んでいると答弁を受けました（自主避難は制限される点については明確な答弁までは得られませんでした）

③市長の見解を問う

最後に市長の原発再稼働に対する見解を問いましたが、周辺自治体の動向に注視し、避難計画やマニュアル等の諸条件が整った段階で再度判断したいという答弁に留まりました。

シセイ報告動画版、配信始めました

この報告書でちょうど 11 年間、定例議会ごとにシセイ報告書を発行して来ました。下妻「市政」のご報告と、それに対する私の「姿勢」のご報告、2 つのシセイを報告するという意味で名付けました、この度、動画版のシセイ報告も始めましたので、どうぞご覧ください。

